

第 7 章 教 育

第1節 教育委員会

1 教育委員会

委員会は、定例会を10回、臨時会を5回招集し、議案件数は33件であった。

2 総合教育会議・教育大綱

総合教育会議は、平成27年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により設置されたもので、市長と教育委員会によって構成されており、教育大綱の策定や「教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策」等について協議・調整を行う。

本年度は総合教育会議を2回開催し、本市が目指す教育や、「沼津市教育大綱」の策定について協議した。

「沼津市教育大綱」については、平成28年2月に策定し、その後、社会情勢の変化を受け、国の「第3期教育振興基本計画」を参酌するとともに、令和3年度を始期とする「第5次沼津市総合計画」の策定状況を踏まえながら、本年12月に新たな大綱を策定した。

3 教育基本構想

沼津の教育の方向性を明確にし、教育施策を総合的に進めていくための指針として「沼津市教育基本構想」を平成21年1月に策定し、平成27年3月、当時の社会的状況等を踏まえて改訂を行った。

その後、国や県の動向に加え、「第5次沼津市総合計画」及び新たな「沼津市教育大綱」の策定を踏まえ、令和3年3月に新たな構想を策定した。

新たな構想では、「人間力を磨く教育」と「地域総がかりで取り組む教育」とを一体的に推進し、「誇り高い沼津を創造する 貴き志を持つ人づくり」につなげていくこととしている。

また、構想に示した理念の具現化を図るため、「沼津市教育基本構想実施計画」（令和3年度～令和7年度）を策定した。

4 学校規模・学校配置適正化推進事業

全国的に少子高齢化が進み、本市においても地域によって児童生徒数の減少により、学校規模の差が大きくなっている。よりよい教育環境の整備や教育の質の更なる充実を図るため、「沼

津市立小・中学校の適正規模・適正配置の基本方針」を平成29年度に策定し、その後、本年12月に改正して取り組みを進めている。

本年度は、戸田地区において、地区推進委員会を3回開催し、小中一貫学校開校に向け校歌について協議を行うとともに、学校経営方針や小中合同のPTA活動について意見交換を行った。長井崎中学校区においては、地区推進委員会を3回開催し、小中一貫学校開校に向け通学や年間行事計画について協議を行った。第二中学校区においては、第一中学校区を含めた新たな地区推進委員会を設置し、委員会を4回開催して、学校規模・学校配置適正化の方向性について協議するとともに、保護者に対して説明会とアンケート調査を実施した。

第2節 学校の運営・管理

5月1日現在における市立の学校・幼稚園数、学級数、教職員数（兼務者除く）、児童・生徒・園児数は次のとおりであった。

区 分	学校・幼稚園数	学 級 数	教 職 員 数	児童・生徒・園児数
小 学 校	24 校	325 学級	655 人	8,145 人
中 学 校	18	166	434	4,516
高 等 学 校	1	15	62	597
幼 稚 園	2 園	6	13	30

1 小 学 校

戸田地区小中一貫校整備工事、長井崎中学校区小中一貫校整備工事、愛鷹小学校屋内運動場LED照明改修工事のほか、各小学校の営繕工事等を実施するとともに、給食調理場空調設備整備工事を実施した。また、要保護及び準要保護家庭の児童の保護者に対して就学援助費を支給し、特別支援学級児童の保護者に対して特別支援教育就学奨励費を支給した。

(1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	児 童 数	決 算 額	1 学級当たりの 金 額	1 人当たりの金額
2	325 ^{学級}	8,145 ^人	1,854,739 ^{千円}	5,706,889 ^円	227,715 ^円
元	331	8,366	1,389,944	4,199,226	166,142

(2) 経常費の児童 1 人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
2	48,561	152,269	16,904	9,981	227,715
元	35,606	100,110	20,338	10,088	166,142

(3) 要保護及び準要保護児童の就学援助費

区 分	児 童 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	899 ^人	12,390,746 ^円
修 学 旅 行 費	191	1,246,060
通 学 費		
新 入 学 児 童 学 用 品 費 等	186	5,177,345
学 校 給 食 費	895	39,367,500
医 療 費		
2 年 度	2,171	58,181,651
元 年 度	2,343	64,939,642

※新入学児童学用品費等は令和 3 年度入学者分を含む

(4) 特別支援学級児童の特別支援教育就学奨励費

区 分	児 童 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	84 人	378,747 円
修 学 旅 行 費	17	54,899
通 学 費	20	557,720
新 入 学 児 童 学 用 品 費 等	9	197,515
学 校 給 食 費	83	1,829,105
2 年 度	213	3,017,986
元 年 度	198	2,710,891

2 中 学 校

戸田地区小中一貫校整備工事、長井崎中学校区小中一貫校整備工事、大岡中学校特別教室棟屋上防水改修工事のほか、各中学校の営繕工事等を実施するとともに、中学校15校の普通教室等空調設備整備工事及び給食調理場空調設備整備工事を実施した。また、要保護及び準要保護家庭の生徒の保護者に対して就学援助費を支給し、特別支援学級生徒の保護者に対して特別支援教育就学奨励費を支給した。

(1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	生 徒 数	決 算 額	1 学級当たりの金 額	1 人当たりの金額
2	166 学級	4,516 人	1,034,340 千円	6,230,962 円	229,039 円
元	173	4,646	846,072	4,890,591	182,108

(2) 経常費の生徒1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
2	41,142	149,220	22,477	16,200	229,039
元	30,355	105,857	26,920	18,976	182,108

(3) 要保護及び準要保護生徒の就学援助費

区 分	生 徒 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	606 人	14,739,918 円
修 学 旅 行 費	61	498,818
通 学 費		
新 入 学 生 徒 学 用 品 費 等	379	13,211,600
学 校 給 食 費	579	29,932,132
医 療 費		
2 年 度	1,625	58,382,468
元 年 度	1,931	74,679,984

※新入学生徒学用品費等は令和3年度入学者分を含む

(4) 特別支援学級生徒の特別支援教育就学奨励費

区 分	生 徒 数	金 額
学用品購入費・校外活動費等	37 人	315,274 円
修 学 旅 行 費		
通 学 費	5	100,800
新 入 学 生 徒 学 用 品 費 等	11	292,125
学 校 給 食 費	37	1,044,462
2 年 度	90	1,752,661
元 年 度	123	2,053,663

3 高 等 学 校

中高一貫教育の利点を生かし、6年間を通した教育の充実に努めた。また、誠花ホール特定天井落下防止対策工事等を実施した。

(1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	生 徒 数	決 算 額	1学級当たりの 金 額	1人当たりの金額
2	15 ^{学級}	597 ^人	563,423 ^{千円}	37,561,533 ^円	943,757 ^円
元	15	604	580,772	38,718,133	961,543

(2) 経常費の生徒1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
2	767,011	141,426	34,750	570	943,757
元	721,150	178,235	60,717	1,441	961,543

4 幼 稚 園

心豊かで思いやりのある園児の育成に努めた。

(1) 経常費の状況

年 度	学 級 数	園 児 数	決 算 額	1学級当たりの 金 額	1人当たりの金額
2	6 ^{学級}	30 ^人	82,662 ^{千円}	13,777,000 ^円	2,755,400 ^円
元	6	42	85,798	14,299,692	2,042,813

(2) 経常費の園児1人当たりの状況

(単位 円)

年 度	人 件 費	物 件 費	維持補修費	そ の 他	計
2	2,399,705	337,725	12,393	5,577	2,755,400
元	1,492,250	527,680	17,328	5,555	2,042,813

第3節 学 校 教 育

1 「チーム学校」実現事業

各学校が、地域性や学校の独自性を生かした特色ある教育活動を通して中期計画を達成するために、児童生徒支援員や図書館支援員など必要な支援員を配置した。また、各学校が行う地域交流の推進と外部人材の活用を図る事業を支援することを目的に、小学校24校、中学校15校の各学校で行われた84の事業に対し交付金を交付した。

さらに本年度は、第五・大岡の各中学校区をコミュニティ・スクールのモデル地区として指定し、学校運営協議会を設置するなど、地域総がかりでの学校運営に取り組んだ。

2 言語教育による表現力・読解力育成事業

国の承認を受けた、「読解の時間」と「英語の時間」からなる特別な教育課程「言語科」の授業を中心に、言葉を用いて人と積極的に関わる態度や論理的な思考力、表現力が高まる言語教育の推進及び読書活動の充実による読書力、読解力の向上を図った。

また、子どもたちが英語や異文化に親しみながら、英語によるコミュニケーションへの自信や興味、関心、意欲を高めていくことを目的として、小・中学校（中等部を除く）にALT（外国語指導助手）を配置したほか、中学校全学年を対象に中学校卒業程度の英語力を必要とする英検3級の検定料の一部を補助し、425人の生徒が利用した。

3 中高一貫教育

沼津市立沼津高等学校・中等部は、中高一貫教育校として6年間の計画的、継続的な教育を通し、生徒個々の自己実現を図ることを目標に、生徒の学力向上や個性を伸ばす教育を活発に

展開した。

4 情報教育

小・中学校25校ほかの情報機器等の更新等を行った。

また、国が進めるGIGAスクール構想実現のため、全小・中学校のネットワーク環境整備や、児童生徒向け1人1台端末の導入、小学校24校への大型ディスプレイの配備等を行った。

そのほか、沼津市立小中高等学校ネットワーク協議会によるICT機器の活用と情報モラル向上のための研究を行った。

5 教職員の人事管理・研修

(1) 人事

学校や地域の実態及び教育課題に基づいた学校づくりや、信頼に応える教育の実現を目指す組織づくりのため、年度末に249人（小学校138人、中学校111人）の人事異動の内申を行った。

(2) 健康管理

教職員の疾病の早期発見・予防指導のために、定期健康診断、指定年齢健診などを行うとともに、心の健康増進を図るため、小・中学校の教職員を対象に「ストレスチェック」を実施した。

また、高ストレス者には専門医との面談を行う体制を整えることで、教職員の疾病予防に努めた。

(3) 研修

教職員研修センターが進める研修会及び個別訪問支援により、小・中学校に勤務する教職員の資質向上を図った。

(4) 教科指導研究

小・中学校の教職員から選任した教科等ごとのチームで教科指導研究を推進し、年度末に研究の成果を教職員ポータル上に公開し、職員間で情報共有を図った。

本年度は各研究チームにおいて、学習指導要領の改定の趣旨を踏まえた研究を行った。

6 児童生徒の教育・健康管理

児童生徒の創意工夫、想像力の育成を図るため、小・中学校美術展を学校ごと開催した。

児童生徒をとりまく環境の変化に対応するため、教育委員会が作成した性教育に関する手引

書「自らの生き方を考える」をもとに、各学校で性教育を行った。

児童生徒の体力づくりを進めるため、沼津市中学校フレンドリーマッチ（7月）、新体力テスト（6月～10月）など各種の体育行事を実施した。

健康管理については、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、児童生徒の疾病の予防指導、治療の奨励を行うとともに、結核検診、尿検査、心臓疾患の検査及び生活習慣病予防検診を実施した。

7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置

児童生徒が心の悩みや不安、ストレスなどを和らげ、心にゆとりをもって安心して学校生活を送れるようにするために、全小・中学校にスクールカウンセラーを配置した。

また、学校や家庭環境等に問題を抱える児童生徒及び保護者を支援するため、スクールソーシャルワーカー3人を配置した。

8 学 校 給 食

学校給食を学校教育の一環としてとらえ、児童生徒の健康増進と豊かな人間性形成を目指して、家庭との連携を取りながら望ましい食習慣の育成に努めた。

給食指導、栄養管理、衛生管理については、研修会などを実施し、栄養教諭、栄養士、調理師等の資質の向上と業務の円滑な推進に努めるとともに、食育の視点から、学校給食における地場産物の活用を図った。

また、学校給食会計の公会計化に向けた準備を行った。

9 特別支援教育

心身に障害のある幼児児童生徒に対し、就学支援委員会の適正な就学支援を実施し、知的障害学級、自閉症・情緒障害学級、通級指導教室において、障害の種類、程度により個に応じたきめ細かな指導を行った。

また、臨床心理士等を含む専門家チームが小・中学校を巡回し、教師や保護者の相談に応じるなどして、支援の充実を図った。

10 幼 児 教 育

市内の幼稚園・保育園・認定こども園の連携を高めるため、「沼津市幼児教育研究協議会」を開催し、相互理解の促進、連携の充実を図ると共に、保育の質や保育士の資質の向上を目的と

した研修会を実施した。

また、幼児教育・保育の無償化の開始に伴い、「一定の所得未満の世帯」及び「第3子以降の世帯」の3歳から5歳児までの子どもの副食費について、本市独自の軽減施策として、国の基準を上回る補助等を実施した。

このほか、私立幼稚園の教職員の資質向上を図るため、4園に補助し、幼児教育の振興支援を行った。

11 育英奨学金

沼津市育英条例に基づき、奨学生選考委員会を開催して、新たに10人を選考した。その結果、1人月額1万円の奨学金を39人の大学生に交付して勉学の奨励に努めた。

12 児童生徒の安全指導

小・中学校では、学級活動などの時間を利用して、通学路の確認や自転車の乗り方などの交通マナー教育を行い、安全指導の徹底を図った。

また、地域や関係機関との連携を図り、児童生徒の安全確保に努めた。

沼津市通学路安全推進連絡協議会において、安全対策を専門とする有識者から助言を得ながら、関係機関と連携して通学路の安全対策を講じた。

13 隣接校選択制度

小・中学校入学時及び転入・転居の際に、居住地のある通学区域の学校以外に、隣接する学校も選択できる隣接校選択制度は、小学校で新年度入学児童1,190人のうち67人、中学校で入学生徒1,506人のうち73人が利用した。

14 小中一貫教育

全小・中学校（中等部を除く）を「併設型小学校・中学校」とし、既存の小学校及び中学校の基本的な枠組みは残したまま「義務教育9年間で子どもを育てる」ことに重点を置く小中一貫教育を推進した。義務教育9年間の系統性を確保した教育課程の編成・実施や、小中合同の会議・研修、中学校区単位での地域連携、小中乗り入れ授業等の教育活動に取り組んだ。

第4節 社 会 教 育

1 社会教育委員会

教育委員会の委嘱により、社会教育に関する調査・研究・検討や諮問に対する答申、意見具申などを行う、10人の委員からなる諮問機関であり、本年度は、令和元年8月に教育委員会から諮問された「学校を支える地域の人材発掘及び育成について」への答申に向けて調査や検討を重ねるとともに、各種研修会にも参加した。

2 生涯学習

市民の学習に対する意欲を支え、学習の場を提供するとともに、生涯学習を基幹とした社会教育活動を推進した。

(1) 生涯学習の推進

「生涯学習情報コーナー」（市立図書館内に設置）において、県内の市町情報のほか、生涯学習についての各種情報を提供した。

ア 学習情報の提供

さまざまな学習情報を広く市民に提供するため、生涯学習情報紙「さんさんだより」を偶数月500部発行し、市内各連合自治会、地区センター等に配布した。

イ 生涯学習推進イベントの開催

市民の生涯学習活動の成果を発表する場を提供するとともに、生涯学習の啓発と普及を図るため「新型コロナウイルスに負けない！生涯学習発表会」を開催し、手作り作品や演技などを動画等で配信した。

参加団体 10団体

(2) 地域における生涯学習の推進

コミュニティ単位に設置している「生涯学習地域推進員」と連携を図りながら、地域における学習活動を推進した。

ア 地域学習講師の派遣

各地域の団体やグループの学習活動を支援するため、その学習に合った講師や指導者を派遣し、地域学習を支援した（派遣回数3回）。

イ 出 前 講 座

市民の学習ニーズに応えるため、市職員を講師として派遣する出前講座を開催し、学習機会の拡大を図った。

講 座 数	71講座	開 催 数	52回
		受講者数	2,210人

ウ ま ち の 識 者

特技や知識を持っている方々を「まちの識者（地域学習指導者）」として人材登録し、市民からの学習指導者紹介の要請に応じた。

登 録 者	延べ118人	紹介件数	6件
		受講者数	150人

エ イングリッシュデビュー事業

英語の習得には乳幼児期から英語に慣れ親しむことが重要であることから、英語に触れるきっかけづくりとして、0～3歳児とその保護者を対象とした英語教室を開催した。

開 催 数	2回	受講者数	105人（45組）
-------	----	------	-----------

また、全4回の講座を動画配信した。

オ 地域学校協働本部

地域総がかりで子どもたちの学びや成長を支える協働活動を推進するため、コミュニティ・スクールモデル地区の第五・大岡中学校区を指定し、地域学校協働本部を設置した。

3 成 人 教 育

(1) 高 齢 者 教 育

生涯学習の一環として、高齢者が心豊かに明るく健康な生活を送るとともに、仲間と語り合い、生きがいを求める場として、65歳以上の市民を対象とした高齢者学級を開設した。

開設学級 万年青大学5学級

寿大学16学級（愛鷹、原、浮島、日枝、大岡、内浦、橘西浦、香南、我入道、
第三中、大平、金岡、片浜東部、片浜西部、今沢、門池）

期 間 10月～令和3年1月 学級生数 1,527人 学習回数 各大学とも月1回

また、学習のほかクラブ活動として、体力づくり、ダンス、詩吟、コーラス、俳句ほかを大学ごとに自主的に行った。

(2) 家庭教育

ア 家庭教育講座

幼児期から思春期までの子どもの心身の発達や親の望ましいあり方等について学ぶ自信がもてる子育て講座を開催した。

開催数 3回 受講者数 延べ66人

イ 家庭教育講座支援事業

すべての教育の原点である家庭教育力向上を目的として開催される、家庭教育に関する学習会へ講師を派遣した。

派遣回数 1回

4 青少年対策

(1) 青少年問題協議会

青少年対策にかかわりのある機関・団体及び行政の代表13人で構成されている青少年問題協議会を年2回開催し、青少年の社会参画について意見交換を行った。

(2) 青少年を健やかに育てる会

青少年健全育成を主眼に、地域組織として18地区に設置されている「青少年を健やかに育てる会」は、育成部・補導部により積極的な地域ぐるみの活動を行い、青少年の健全育成と非行・被害防止に努めた。

(3) 青少年健全育成啓発事業

市民が青少年問題に対する関心を深め、青少年の健全育成を推進するために、「青少年を健やかに育てる会」及びその他の関係機関と緊密な連携を保ちながら青少年健全育成啓発事業を行った。

11月の「子供・若者育成支援強調月間」には、沼津駅周辺での街頭キャンペーンを実施し、さらに広報活動を通して青少年健全育成の啓発に努めた。

また、児童生徒が通学路や遊び場等で危険に遭遇した時、すぐに助けを求められる場所として「こどもかけこみ110番の家」（令和3年3月31日現在2,294か所）を設置した。

(4) 青少年育成推進員制度

各地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦された318人で構成され、「青少年を健やかに育てる会」の中核的な推進役として、地域の青少年団体の育成や地区行事等で活動した。

(5) 二十歳の集い

公式Instagramを開設し、新成人が投稿した写真を共有したり、恩師や著名人等のメッ

セージを動画配信したりする等の方法で新成人を祝った。

また、20歳となった若者たちに責任ある大人としての自覚と市政への関心を喚起するため、二十歳の集いの記念事業として行う新成人議会では、19人の新成人議員の発言をまとめ、冊子を発行した。

(6) わたしの主張大会

市内の中学生が家庭、学校、郷土（地域）、友人、将来のこと、あるいは、自分の体験や日頃考えていることを発表する作文を募集し、市内19中学校から校内審査により選ばれた19人の作品をまとめ、文集を発行した。

(7) 高校生しゃべり場 in ぬまづ

各高校の代表生徒に日頃感じていることや意見を自由に発言する場を提供することで、高校生の社会参加のきっかけを作るとともに、生徒自身の社会に対する意識の高揚を図り青少年の健全育成を促すことを目的として、ディスカッション方式で開催した。第8回となる本年度は、11人の高校生により、「高校生×わがまち沼津～魅力的で活気にあふれた都市にするために～」をテーマに活発な意見交換が行われた。

(8) 青少年体験学習推進事業

幅広い分野での体験の機会を設け、参加者の自ら学び考える力や様々な物、事への興味・関心・意欲の向上を図ることを目的に、学校や家庭ではできない体験活動を実施した。

開催数 1回 参加者数 24人

(9) 青年団体の育成及び青少年育成団体との連携

沼津市子ども会育成連絡協議会等と常に緊密な連携を保ちながら青少年の健全育成を図った。

(10) 子どもの居場所づくり推進事業

行政、学校、放課後児童クラブ、児童福祉、社会教育の関係者や地域住民の代表などの委員で構成される「放課後子ども総合プラン運営委員会」を設置し、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との関連や活動場所、人材確保など本市における「放課後子ども総合プラン」等について協議をし、「放課後子ども教室」を市内5か所の小学校にて実施した。

5 青少年教育センター

(1) 補 導

ア 中 央 補 導

繁華街での補導を強化するため、各小・中・高等学校、地区補導委員代表者及び警察署

等と連携を保ちながら計画的な街頭補導を実施した。

イ 地 区 補 導

市内全域の補導強化を図るため、18地区の「青少年を健やかに育てる会」から推薦された少年補導委員により、それぞれ地区の実情に合った補導を実施した。

機関・団体別少年補導委員数

(単位 人)

機 関 ・ 団 体 名	委員数	機 関 ・ 団 体 名	委員数
小 学 校 教 員	23	各地区青少年を健やかに育てる会	232
中 学 校 教 員	18		
高 等 学 校 教 員	24	計	297

街頭補導実施状況

実施回数	補導委員従事延べ人数	声かけ、注意、指導 した少年	事後指導（家庭・学校・ 他機関への連絡）
回 280	人 1,809	人 1,067	人

街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区補導）

（単位 人）

学 職 別		小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他 学 生	有 職 少 年	無 職 少 年	合 計
区 分								
行 為 種 別	飲 酒							0
	喫 煙							0
	薬 物 乱 用							0
	夜 間 は い か い			12	2			14
	不 良 交 友							0
	怠 学 ・ 怠 業							0
	ゲームセンター入場	5	11	116				132
	パチンコ店入場							0
	カラオケ店入場							0
	自転車の暴走行為			1				1
	自転車の二人乗り					2		2
	自転車の無灯火	1		1				2
	危 険 な 遊 び							0
	そ の 他	7	1	5				13
合 計		13	12	135	2	2	0	164
事後指導	家庭・学校・職場へ連絡							0
	他 機 関 へ 連 絡							0
	合 計	0	0	0	0	0	0	0
愛 の 声 か け 運 動		404	305	193	0	1	0	903

(2) 環境浄化活動

有害図書の販売場所、ゲームセンター、カラオケ店及び公園・空き地等、青少年のたまり場や遊び場を巡視し、高校生等による落書き消し等環境の浄化に努めた。

(3) 広報活動

非行・被害防止及び健全育成の啓発を図るため、青少年教育センターの機関紙「たより」の発行、関係機関や団体との情報交換を行った。

(4) 教育相談

面接相談と電話相談の各利点を生かして、児童生徒及び保護者の相談に応じた。教育相談の実績は、面接相談137件（延べ1,760回）、電話相談2,734件であった。

ア 相談指導学級

不登校の児童生徒の学校復帰や社会的自立を図るため、通級による指導を行った。

イ 面接相談

非行、不登校、発達・子育て、進路・適性、対人関係等の課題について、職員や臨床心理士、言語聴覚士により面接相談を通じて相談者自身による課題解決を支援した。また、本人や保護者との面接のほか、必要に応じて学校等への訪問を実施した。

相談内容・対象者別内訳

(単位 件)

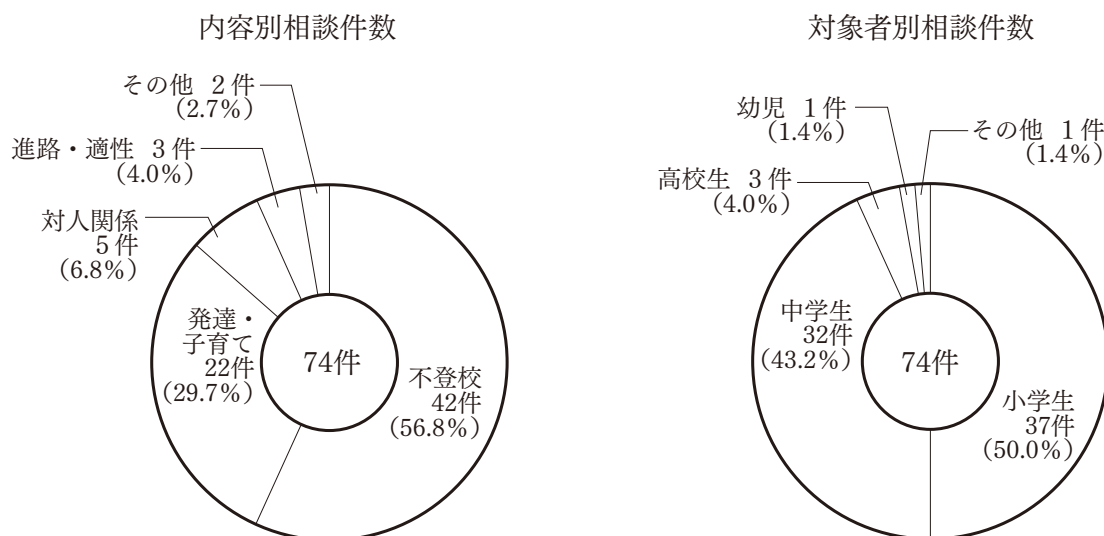
対象者	内容	非 行	不 登 校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	そ の 他	計
幼 児				1				1
	新 規			1				1
小 学 生			34	22	2			58
	新 規		21	15	1			37
中 学 生			56	9	2	6		73
	新 規		21	5	1	5		32
高 校 生			1	1	1		1	4
	新 規			1	1		1	3
そ の 他							1	1
	新 規						1	1
本 年 度		0	91	33	5	6	2	137
	新 規	0	42	22	3	5	2	74

※対象者のその他……大学（短大）生・専門学校生・有職少年・無職少年など

※上段は相談件数

※下段は新規相談で上段の内数

[新規相談受理状況]



ウ 相談指導学級における教育相談教員研修

学校における複雑多様化した児童生徒の行動を理解し、課題の改善を図る手法として、「教育相談的かわり」のできる教員を育成することを目的に、教職員研修センターの主催する「若手教員研修」のうち相談指導学級における体験研修を行った。（受講者14人、年間14回）

エ 電話相談

「やまびこ電話」の愛称で呼ばれる電話相談では、電話を通して訴えられる青少年に関する多種多様な課題や悩みについて、22人（令和3年3月31日現在）の相談員が共に悩み考えながら解決へ向け支援した。

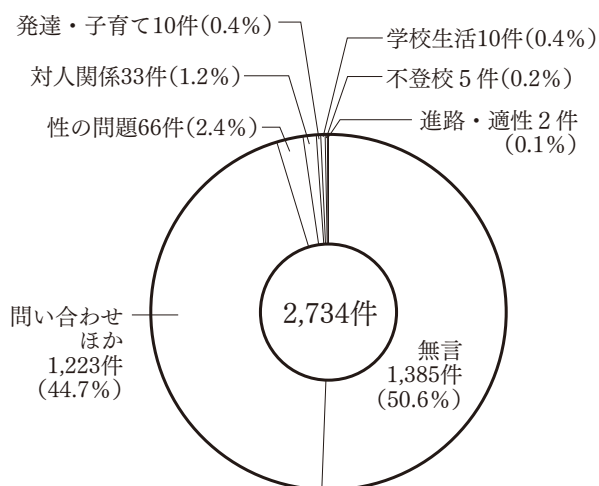
相談内容・対象者別内訳

(単位 件)

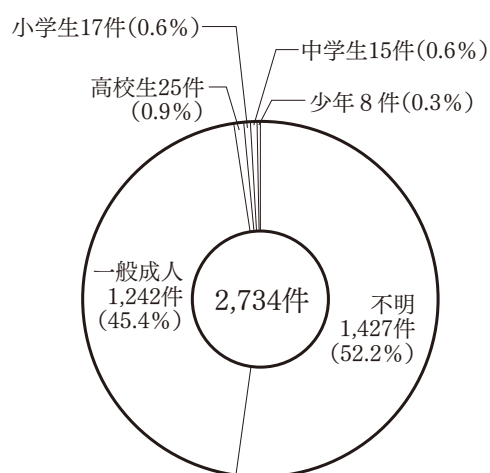
対象者 内容	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少 年	一 般 人	不 明	計
非 行								0
不 登 校			4	1				5
発達・子育て		5				5		10
性 の 問 題		9	7	12	5	17	16	66
進路・適性			2					2
対 人 関 係				4	2	25	2	33
学 校 生 活		2	1	6			1	10
問い合わせほか		1	1	2	1	1,195	23	1,223
無 言	—	—	—	—	—	—	1,385	1,385
計	0	17	15	25	8	1,242	1,427	2,734

※少年は20歳未満の大学（短大）生・専門学校生・有職少年・無職少年

内容別相談件数



対象者別相談件数



6 芸術・文化振興

市民による自主的な芸術・文化活動を支援し、その成果を発表する場として、市民の参画により「第47回沼津市芸術祭」を開催した。

部 門 名	開 催 日 ・ 会 場	内 容
ぬ ま づ 文 芸	10.10 入賞者発表	出品総数 381点 随筆、詩、短歌、俳句、川柳の作品募集と作品集「ぬまづ文芸」の発行

○ 山口源新人賞受賞者を講師に迎え、版画の普及を目的とし、市内の高校や、一般公募による版画ワークショップを行った。

○ まちなかコンサート

芸術文化の振興と市のにぎわいづくりを目的として、市内の会場において音楽コンサートを開催した。

内 容	開 催 日	会 場	参加人数
帯 笑 園 秋 の 園 遊 会	10.18	帯笑園	89人

7 市史編さん

市の歴史を明らかにする貴重な史・資料を整理・保存した。市史の構成は次のとおりである。

○沼津市史

「通史編」「資料編」「史料編」「別編」「通史別編」

○戸田村史

「通史編」「民俗編」

8 文 化 財

郷土の文化遺産の保護・継承のため、文化財の調査・整理及び保存に努めたほか、文化財の愛護思想を啓発するため、個人でまわる文化財めぐりを実施した。出前講座は9回開催し、384人の市民が聴講した。また、文化財保護審議会を2回開催（書面会議）し、市の指定文化財の指定に関することなどを審議した。

埋蔵文化財発掘調査関係の主な事業は、中原遺跡埋蔵文化財発掘調査受託事業ほか6事業であった。

また、史跡等保全整備事業として高尾山古墳出土遺物レプリカ作成や大瀬崎ビヤクシン樹林

保存活用計画策定に向けた植生調査、戸田松城邸の保存修復等を行った。

そのほか、海をテーマとした文化財講座、文化財まちあるきマップの作成、御城印の発行、小中学校のネットワーク環境で使えるようなデジタルコンテンツの提供等の文化財活用推進事業を行った。

9 社会教育施設

(1) 若山牧水記念館

公益社団法人沼津牧水会を指定管理者として、歌人若山牧水の業績の顕彰と沼津の文学風土を紹介することを目的として、文学資料の保存や調査・研究を行うとともに、講座・講演等を開催し、広く市民の教養・文化の向上に努めた。

ア 事業

(ア) 講座・講演等

○ 「初心者のための短歌講座」、「牧水記念館短歌会」

4月～令和3年3月 参加者 合計167人 講師 永久保 英敏

(公益社団法人沼津牧水会理事)

○ 短歌大会

10月4日

「短歌大会」応募短歌97首 参加者67人

講師 黒岩 剛仁（「心の花」選者、第24回若山牧水賞受賞者）

8月8日

「第32回 雛の歌会」応募短歌64首 参加者36人

講師 梶原さい子（「塔短歌会」編集委員）

令和3年3月13日

「第33回 雛の歌会」応募短歌94首 参加者87人

講師 馬場あき子（「かりん」発行人、朝日歌壇選者）

○ 「中学生短歌コンクール」

募集期間 5月1日～8月31日

応募短歌 19校 1,530首 入選短歌50首

(イ) 調査・研究

牧水顕彰のための調査・研究を行い、関係資料の収集に努めるとともに、館報の作成に活用した。

(ウ) 若山牧水記念館館報の刊行

「沼津市若山牧水記念館」館報（年2回）を刊行し、市民への啓発を行った。

第65号（9月1日）

第66号（令和3年3月1日）

イ 企画展示

○「牧水、沼津への移住 100周年記念展」（令和3年2月2日～3月28日）

ウ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数		
4	41 ^人	9 ^日	10	244 ^人	27 ^日		
5	63	21	11	244	25	入館者数	2,506人
6	133	26	12	190	24	開館日数	285日
7	207	27	3.1	110	24	1日平均	
8	473	26	3.2	270	24	入館者数	8.79人
9	245	26	3.3	286	26		

(2) 歴史民俗資料館

郷土の歴史・民俗資料の収集、保管、調査・研究を行い、企画展や講座を開催し、市民文化の向上と発展に努めた。

ア 歴史民俗資料館協議会

館の円滑な運営を図るため、委員6人による協議会を3回開催し、館の運営計画や展示計画、PR方法などについて協議した。

イ 事業

(ア) 国重要有形民俗文化財の「沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具」（2,539点）の指定報告書解説編の作成を進めた。

(イ) 調査・研究活動として、民俗、古文書等の収蔵資料の整理を実施した。

(ウ) 普及活動として、「資料館だより」、「沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具Ⅲ（概要）1」、「沼津市博物館紀要45」（明治史料館と共同）を刊行した。

(エ) 令和3年1月16日、歴民講座「水軍から見た戦国期の駿河湾と沼津」について、講座レジュメを作成し、128人へ配布した。

ウ 展 示

(ア) 常 設 展

1階展示室に「奥駿河湾の漁法と漁具」、2階展示室に「生活用具とものづくり」、「沼津の漁業、信仰（漁具）」を展示した。

(イ) 企 画 展

○ 国指定漁具コレクション養殖用具「そだてる漁業—養殖をめぐる沼津の一世紀—」を開催した。

（4月1日～5月6日）

○ 3市博物館連絡協議会合同企画展「採る・捕る・獲る—富士・沼津・三島の狩猟と採集—」を開催した。

（7月4日～8月30日）

○ 国指定漁具コレクション用具「地先の漁」を開催した。

（令和3年2月6日～3月31日）

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	246 ^人	9 ^日	10	2,820 ^人	26 ^日
5	354	11	11	3,339	23
6	1,256	24	12	1,192	23
7	1,274	26	3.1	722	23
8	1,608	25	3.2	1,558	21
9	1,209	25	3.3	1,014	21

入 館 者 数 16,592人

開 館 日 数 257日

1 日 平 均
入 館 者 数 64.6人

(3) 明 治 史 料 館

江原素六及び沼津兵学校の関係資料を中心に常設展示を行うとともに、地域の歴史資料の調査・収集・保存をし、企画展をはじめ、講座の開設、資料の整理・出版活動を通じて、市民文化の向上と発展に努めた。

ア 明治史料館協議会

館の円滑な運営を図るため、委員10人による協議会を3回開催し、運営及び事業計画などについて協議した。

イ 事 業

(ア) 古文書等整理実践講座

10月17日、11月21日、12月19日、令和3年3月20日、館所蔵の資料を実際に整理・保存する方法を学び、また古文書資料を翻刻して研究・展示等に役立てる講座を開催した。

(イ) 戦争史跡めぐり

8月10日・13日、小学生とその保護者を対象とした、「平和を考える戦争史跡めぐり」を実施し、地域の歴史学習の場を提供した。

(ウ) 高校生のための一日学芸員体験講座

8月1日、「学芸員」という仕事を体験することによって、高校生が歴史や博物館などに対する興味を持つとともに、進路を決める際の参考になるよう開催した。

(エ) 戦争体験を記録する会

毎月1回の会合を開き、戦争の体験を後世に残すために、市民の戦争体験を記録した。

(オ) 出版活動

館報である「明治史料館通信」（年4回）を刊行し、博物館活動への理解向上を図ったほか、歴史民俗資料館と共同で「沼津市博物館紀要45」を刊行した。

(カ) 江原素六学習作品展

江原素六の功績に対し感謝と理解を深めるため、地元小学校児童の作品を展示した。

(キ) 明治史料館ギャラリートーク2020

毎月第2土曜日に開催。職員が展示資料を参加者と対話しながら解説した。

ウ 展 示

(ア) 常 設 展

3階、4階を常設展示場とし、3階北側は「江原素六」、3階南側は「沼津の歴史」、4階は「沼津兵学校」を展示した。

(イ) 企 画 展

○ 「新収資料の紹介」

（12月12日～令和3年1月31日）

○ 「マエヘススメ！～沼津の体育・スポーツ史～」

（令和3年2月13日～3月31日）

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数
4	16 ^人	9 ^日	10	532 ^人	26 ^日
5	76	20	11	420	22
6	250	24	12	269	19
7	306	26	3.1	298	23
8	805	25	3.2	333	12
9	302	25	3.3	285	25

入 館 者 数 3,892 人
 開 館 日 数 256 日
 1 日 平 均
 入 館 者 数 15.2 人

(4) 戸田造船郷土資料博物館

幕末に日本に來航して駿河湾で沈没したロシアの軍艦ディアナ号、その代船として建造されたヘダ号関係の資料、戸田の漁業や廻船業などの郷土資料を展示・収集した。

ア 戸田造船郷土資料博物館協議会

館の運営の円滑化を図るために、委員 6 人からなる協議会を開催し、館の展示計画や広報活動、資料収集活動のあり方について協議した。

イ 事 業

博物館だよりの発行

博物館への関心を高め、博物館の活動について住民に知らせるための博物館だよりを発行し、戸田地区内回覧及び各窓口事務所等に配布した。

ウ 展 示

大名びな展（4 月 2 日～5 月 31 日）

戸田の文化財展（6 月 1 日～11 月 1 日）

重要文化財 松城家住宅展（11 月 2 日～令和 3 年 1 月 31 日）

戸田から見た富士山と船写真展（令和 3 年 2 月 1 日～2 月 28 日）

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数		
4	84 ^人	8 ^日	10	570 ^人	27 ^日		
5	100	12	11	725	25	入 館 者 数	6,010 人
6	405	26	12	552	24	開 館 日 数	276 日
7	448	26	3.1	370	25	1 日 平 均	
8	1,000	28	3.2	438	24	入 館 者 数	21.8 人
9	686	25	3.3	632	26		

(5) 庄司美術館（モン ミュゼ沼津）

NPO法人沼津文化協会を指定管理者として、寄贈された美術品による常設展や月変わりの企画展を行い、市民に美術鑑賞の場を提供した。

ア 庄司美術館運営委員会

美術館の適正な運営を図るため、委員9人による運営委員会を2回開催し、運営及び展示計画などについて協議した。

イ 展 示

期 日	1 階 展 示 室	2 階 展 示 室
4.1～4.10	大久保博油彩画展	高橋恵子作品展
5.8～5.17	荻生昌平水彩展	
5.23～6.14	小俣佳昭写真展	三須正枝・岡山多加子 クレイフラワー展
7.4～7.26	福園公嗣写真展	ヒロ中島作品展
8.1～8.30	丸子遊子展	吉田香澄 犬の写真展
9.5～9.27	中村美恵子日本画展	井原正利作陶展
10.3～10.25	開館20周年 山口源作品展	平松源・真美 木工、漆工夫婦展
10.31～11.22	稲田泰樹作品展	開館20周年記念事業 美術展、写真展、書道展
11.28～12.20	加藤隆重作品展	前田千寸展
3.1.5～1.17	寄贈作品展	
3.1.23～2.7	山口源賞大賞新人賞受賞作品展（前期）	
3.2.13～2.28	山口源賞大賞新人賞受賞作品展（後期）	
3.3.6～3.28	竹井連油彩画展	竹井心作品展

ウ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数		
4	94 ^人	9 ^日	10	581 ^人	21 ^日		
5	391	17	11	1,184	20	入 館 者 数	6,058 人
6	336	12	12	283	18	開 館 日 数	222 日
7	488	20	3.1	235	20	1 日 平 均	
8	672	26	3.2	273	19	入 館 者 数	27.3 人
9	396	20	3.3	1,125	20		

(6) 芹沢光治良記念館

平成21年4月1日に一般財団法人井上靖文学館（現長泉町井上靖文学館）から資料及び建物の寄附を受け、同年10月1日に芹沢光治良記念館として開館した。本市生まれの作家芹沢光治良の関係資料を整理・収集・保存し、企画展示を行うとともに、市民ギャラリーとして沼津の文化に関する企画展示を一般公募するなど、市民文化の向上と発展に努めた。

ア 芹沢光治良記念館懇話会

館の円滑な運営を図るため、委員4人による懇話会を2回開催し、運営方法及び事業計画などについて参考意見を聴取した。

イ 事 業

(ア) 資料整理・保存

芹沢光治良関連資料のデータベース化と適正保存を進めるために、資料目録の点検、補填など、資料の整理及び保存の処理を行った。

(イ) 各種広報活動

当館周知のためのポスター及びチラシ等を作成し、市内小中学校等の教育機関、各自治会及び主要文化施設に配布した。また各イベント会場へ出向き、同様に配布した。

(ウ) 教育普及

企画展展示説明会等を実施した。

事業名	内 容	期 日	備 考
展示説明会	企画展光治良と沼中・東高（第1回） 展示説明会	8.21・29 11.21	各日3回全9回実施 参加者計31人
	芹沢光治良について	11.7・8・ 14・15・ 21・22・ 23・28・ 29	東海バストラベル「地元愛満 タン沼津満喫ツアー」内 各日2回全18回実施 参加者計158人
文学散歩	第24回伊豆文学フェスティバル特別企画 伊豆文学バスツアーBコース 「沼津ゆかりの文豪と沼津御用邸記念公園」	3.3.7	館職員を案内人とした市内文学ゆかりの場所巡り 参加者30人
刊行図書	企画展光治良と戦争展図録	3.3.31	館内にて一般頒布

ウ 展 示

企画展

- 光治良と川端康成展（第2回）（4月1日～6月30日）
- 光治良と沼中・東高（第1回）（7月15日～12月6日）
- 光治良と沼中・東高（第2回）（令和3年1月5日～3月31日）
- 開館10周年記念企画展第2弾「沼津市芹沢光治良記念館のあゆみ2」（6月2日～8月16日）
- 静岡県文化奨励賞受賞記念特別展「こんなことしてきました。～芹沢光治良記念館カッドウのあれこれ～」（11月14日～令和3年3月31日）

エ 入館者数と開館日数

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数		
4	54 ^人	9 ^日	10	598 ^人	27 ^日		
5	0	0	11	853	24	入 館 者 数	5,506人
6	246	25	12	141	6	開 館 日 数	232日
7	488	15	3.1	248	25	1 日 平 均	
8	1,326	26	3.2	238	22	入 館 者 数	23.7人
9	794	26	3.3	520	27		

10 社会体育

生涯スポーツの振興のため、各種スポーツ大会等の開催のほか、小・中学校の体育施設の開放を推進するとともに、NPO法人沼津市体育協会、沼津市スポーツ推進委員連絡協議会、同各地区体育委員会、同スポーツ少年団の活動助成に努めた。

また、沼津市スポーツ推進基本計画（平成26年度～令和5年度）の後期推進計画（令和元年度～5年度）に基づきスポーツ振興にかかる事業を行った。

(1) スポーツ大会等開催事業

名 称	実施時期	概 要
第74回 沼津市スポーツ祭	通 年	各種スポーツの普及と底辺拡大を図るため、体育協会の協力のもと、約6,000人が参加し、市主催の本市最大のスポーツ大会を実施した。 陸上競技ほか14種目
2020 ぬまづ健康スポーツ祭	9.27	年齢問わず、親睦を深め、気軽にスポーツに親しみ健康で楽しい生活が送れるようにすることを目的に実施した。（参加者172人）

(2) スポーツリーダーバンク事業

沼津市スポーツリーダーバンクのあり方について検討を行った。

○登録指導者数 24人

(3) 魅せるスポーツ推進事業

本市のスポーツ振興の基本理念の一つである「みるスポーツ」を推進するため、トップアスリート教室としてアスル全力教室を開催したほか、県市町対抗駅伝競走大会の沼津市チームへの支援を行った。

(4) 学校体育施設利用推進事業

地域スポーツの振興を図るため、小・中学校の体育施設を地域住民のスポーツの場として開放し、市民の健康の維持・増進と体力づくりを図った。

学校体育施設利用状況

		運動場（夜間）	運動場（昼間）	体育館（夜間）	体育館（昼間）
小学校	日 数	334 日	1,890	812	1,903
	人 数	5,469 人	60,811	10,728	41,083
中学校	日 数	540 日	141	1,021	100
	人 数	6,477 人	2,835	14,401	1,452
計	日 数	874 日	2,031	1,833	2,003
	人 数	11,946 人	63,646	25,129	42,535

(5) 屋外運動場夜間照明施設整備事業

地域スポーツの振興を図るため、小・中学校等に設置してある夜間照明施設の点検及び修繕を行った。

(6) スポーツ広場整備事業

地域住民の健康・体力づくりのため、自治会が借り上げた遊休地等の土地にグラウンド砂の補充を行ったほか、防護ネットの工事を行った自治会に対する助成を行った。

(7) 地域体力づくり教室運営事業

身近な施設でたくさんの仲間とふれあいながら、健康・体力づくりができるように各種の教室を地区センターなどを会場に開催した。

ア 地域体力づくり教室

教室名		会場	定員 (各期)	期・回数	参加人員	対象者
女性体操教室	Aコース	原地区センター	35 ^人	2期延べ11回	289 ^人	18歳以上の女性
	Bコース		35	2期延べ11回	226	
ふれ愛体操教室	水曜日コース		50	2期延べ16回	494	60歳以上の人
	木曜日コース		50	2期延べ16回	357	
ふれ愛体操教室	Aコース	大平地区センター	20	2期延べ16回	110	60歳以上の人
	Bコース		20	2期延べ16回	199	
男性健康づくり教室				20	2期延べ16回	169
ふれ愛体操教室		静浦地区センター	30	2期延べ16回	279	60歳以上の人
ふれ愛体操教室		浮島地区センター	25	2期延べ15回	174	60歳以上の人
ふれ愛体操教室		戸田B&G海洋センター	40	2期延べ16回	181	60歳以上の人
ふれ愛体操教室		愛鷹地区センター	25	2期延べ16回	240	60歳以上の人
ふれ愛体操教室	水曜日コース	第三地区センター	35	2期延べ17回	248	60歳以上の人
	木曜日コース		35	2期延べ16回	356	
男性健康づくり教室		片浜地区センター	30	2期延べ16回	269	18歳以上の男性
からだづくり教室		第五地区センター	30	2期延べ16回	287	18歳～59歳の人
ふれ愛体操教室			30	2期延べ16回	277	60歳以上の人
たのしいヨガ教室			30	2期延べ16回	179	18歳以上の人
からだづくり教室		門池地区センター	30	2期延べ16回	147	18歳～59歳の人
ふれ愛体操教室	Aコース		30	2期延べ16回	237	60歳以上の人
	Bコース		30	2期延べ16回	300	
ふれ愛体操教室	水曜日コース	今沢地区センター	20	2期延べ16回	279	60歳以上の人
	木曜日コース		20	2期延べ16回	256	
ふれ愛体操教室		大岡地区センター	25	2期延べ16回	288	60歳以上の人
からだとのえ運動教室		内浦地区センター	30	2期延べ16回	290	40歳以上の人
たのしいヨガ教室		第二地区センター	25	2期延べ16回	188	18歳以上の人
からだバランス教室			25	2期延べ16回	65	18歳以上の人
合 計					6,384	

イ 短期講座

講座名	定員	開催日	参加人員	対象者
ウォーキング講座	20	7.2	8 ^人	18歳以上の人
ストレッチ&筋トレ教室	670	7.9～22	432	
計			440	

第5節 自然体験施設

1 ゆめとびら舟山

自然体験施設として、青少年の健全育成を図るための集団宿泊生活や野外活動など年間利用者数は16団体延べ238人であった。

(1) ゆめとびら舟山運営審議会

沼津市校長会、沼津市スポーツ少年団、戸田観光協会代表などの7人により構成され、施設の利用促進、今後の活用の方策などについて審議した。

(2) 利用状況

ア 月 別

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	3.1	3.2	3.3	計
団体数						1	6	1			5	3	16 ^{団体}
実人員						24	79	38			22	13	176 ^人
延べ人数						48	79	76			22	13	238 ^人
開所日数	9	8	25	27	26	26	27	25	24	24	24	25	270 ^日
利用率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	2.9	3.0	0.0	0.0	0.9	0.5	0.9 [%]

$$\text{※利用率} = \frac{\text{延べ人数}}{\text{宿泊定員 (100人)} \times \text{開所日数}} \times 100$$

イ 団体別

団体 区分	幼・保	小学校	中学校	高等学校 各種学校等	スポーツ 少年団等	その他	計
団体数	1				3	12	16 ^{団体}
実人員	24				66	86	176 ^人
延べ人数	24				128	86	238 ^人

第6節 体 育 施 設

1 市民体育館

(1) 市民体育館運営審議会

市民体育館利用者代表等からの委員（定員15人以内）により構成され、1回の会議を開催し、市民体育館の運営について審議した。

(2) 開 催 事 業

体力づくり教室

教 室 名		定 員 (各期)	期・回数	参加人員	対 象 者
親子体力 づくり教室	父子ふれあいコース(20組)	40 ^人	1期 5回	150 ^人	4・5・6歳児と保護者
	3歳コース(80組)	160	1期 6回	204	3歳児と保護者
	4・5・6歳コース(50組)	100	1期 6回	367	4・5・6歳児と保護者
小学生体育教室		30	1期 6回	78	小学1・2年生の児童
男性スポーツ教室		25	2期延べ16回	173	18歳以上の男性
女性体操 教室	月曜日コース	40	2期延べ14回	294	18歳以上の女性
	火曜日コース	100	2期延べ16回	736	
トレーニング教室		10	1期 6回	17	18歳以上の女性
女性フィットネス教室		35	2期延べ15回	270	18歳以上の女性
ボディバランス 教室	月曜日コース	30	2期延べ14回	182	18歳以上の人
	水曜日コース	30	2期延べ15回	264	
コンディショニング教室		20	2期延べ16回	212	18歳以上の人
ロコモ 予防教室	木曜日コース	30	2期延べ16回	336	50歳以上の人
	金曜日コース	30	2期延べ15回	298	
脚力アップ教室		30	2期延べ15回	269	60歳以上の人
健康体操教室		70	2期延べ16回	418	60歳以上の人
合 計				4,268	

(3) 利 用 状 況

ア 年度別利用状況

(単位 人)

年度\区分	個人利用者	団体利用者	体力づくり 教室利用者	体協スポーツ 教室利用者	計
2	33,954	57,389	4,268	2,594	98,205
元	73,903	87,156	15,040	8,252	184,351

イ 目的・種目別利用状況

区 分	目 的 ・ 種 目	利用回数 (コマ数)	利用者数
個 人 利 用	卓 球	— 回	16,397 人
	トレーニング	—	13,923
	弓 道	—	3,281
	そ の 他 (リズム体操・ダンス等)	—	353
	小 計	—	33,954
団 体 利 用	バレーボール	150	2,027
	バドミントン	693	10,093
	バスケットボール	317	6,088
	テ ニ ス (硬式・ソフト)	182	1,379
	卓 球	90	2,728
	フットサル	269	4,579
	剣道・居合道・柔道	249	4,435
	合気道・空手・太極拳	633	9,437
	そ の 他 (リズム体操・ダンス等)	976	13,402
	会 議 室	173	3,221
	小 計	3,732	57,389
体 力 づ く り 教 室	体力づくり教室 (16教室)	197	4,268
ス ポ ー ツ 教 室	スポーツ教室 (14教室)	175	2,594
合 計			98,205

2 屋内温水プール

(1) 開催事業

教 室 名			定 員 (各期)	期・回数	参加人員	対象者・摘要
体 力 づ く り 教 室	親子水泳教室（15組）		30 ^人	1期 2回	4 ^人	3歳児と保護者
	幼 児 水 泳 教 室		25	1期 2回	35	4・5・6歳児
	小 学 生 水 泳 教 室		25	1期 2回	41	クロールで25m 泳げない小学生
	アクアウォー キング教室	月曜日コース	50	2期延べ11回	212	18歳以上の女性
		火曜日コース	30	2期延べ12回	203	
	ア ク ア ビ ク ス 教 室		50	2期延べ11回	200	
	健 康 水 泳 教 室		50	2期延べ11回	178	50歳以上の人
ス ポ ー ツ 教 室（2教室）			年間2回 定員80人		48	体育協会主催
合 計					921	

(2) 年度別利用状況

年度	一 般	構成比	高校生以下	構成比	計	公開日数	1日平均 利用者数
2	13,969 ^人	81.2 [%]	3,244 ^人	18.8 [%]	17,213 ^人	223 ^日	77 ^人
元	34,405	73.8	12,203	26.2	46,608	275	169

3 勤労者体育センター

(1) 開催事業

体力づくり教室

教室名		定員 (各期)	期・回数	参加人員	対象者
女性体操教室	水曜日コース	80 ^人	2期延べ15回	389 ^人	18歳以上の女性
	木曜日コース	80	2期延べ16回	513	
健康体操教室		80	2期延べ16回	401	60歳以上の人
合 計				1,303	

(2) 利用状況

ア 年度別利用状況

(単位 人)

年度	区分	個人利用者	団体利用者	体力づくり教室 利用者	スポーツ教室 利用者	計
2		2,314	16,844	1,303	172	20,633
元		5,664	22,074	3,032	303	31,073

イ 目的・種目別利用状況

区 分	目 的 ・ 種 目	利用回数 (コマ数)	利用者数
個 人 利 用	卓 球	— 回	2,290 人
	トレーニング	—	
	そ の 他	—	24
	小 計	—	2,314
団 体 利 用	バレーボール	86	1,633
	バドミントン	252	3,133
	バスケットボール	346	6,441
	体 操	69	1,258
	ソフトバレー	25	265
	卓 球	15	657
	フェンシング	15	388
	バウンドテニス	107	648
	ダ ン ス	14	254
	太 極 拳	39	454
	柔 道	1	20
	剣 道	10	630
	そ の 他	14	1,063
	小 計	993	16,844
体力づくり教室	体力づくり教室（3教室）	47	1,303
ス ポ ー ツ 教 室	スポーツ教室（1教室）	11	172
合 計			20,633

4 香陵武道場

(1) 公開教室

区 分	回 数	参加人員	摘 要
ス ポ ー ツ 教 室（3教室）	2期延べ36回	551 人	体育協会主催

(2) 種目・年度別利用状況

(単位 人)

練習場 種目 年度	剣 道 場 ・ 柔 道 場									弓道場	計
	剣道	空手	なぎなた	居合道	体操・ダンス	柔道	太極拳	合気道	その他	弓道	
2	2,140	591	394	888	1,751	3,228	1,407	592	74	3,724	14,789
元	3,461	1,071	658	1,137	3,291	7,183	1,948	1,120	1,171	4,934	25,974

5 戸田B＆G海洋センター

戸田地区におけるスポーツ・レクリエーションの拠点として、また、地域に密着した親しまれる施設として利用に供した。

(1) 年度別利用状況

(単位 人)

区分 年度	プ ー ル		体 育 室	計
	個人利用者	体力づくり教室利用者	団体利用者	
2	1,187		6,367	7,554
元	2,382	1,175	6,875	10,432

(2) 目的・種目別利用状況

区 分	目 的 ・ 種 目	利用回数	利用者数
個 人 利 用	プール	— 回	1,187 人
団 体 利 用	バレーボール	104	1,254
	バドミントン	19	104
	バスケットボール	63	934
	卓 球	84	880
	ミニバス	42	948
	柔 道	125	1,481
	そ の 他 (ダンス・カローリング等)	62	766
	小 計	499	6,367
合 計			7,554

6 屋外施設の年度別利用状況

区分 年度	市営野球場		大岡市民運動場		西部市民運動場		中瀬市民運動場	
2	121 ^回	7,886 ^人	613 ^回	18,871 ^人	444 ^回	8,093 ^人	402 ^回	5,417 ^人
元	154	10,424	610	26,886	399	10,008	511	7,127

区分 年度	愛鷹運動公園テニスコート (12面)	大岡公園テニスコート (4面)	戸田テニスコート (2面)
2	58,222 ^人	25,939 ^人	360 ^人
元	64,503	28,416	545

第7節 図 書 館

1 市立図書館協議会

図書館法第14条に基づき、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館が行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関として設置している。本年度は協議会を2回行った。

委員9人（内2人は公募委員）

2 資料整備

利用者が求める様々な情報に対応するため、一般書、児童書、参考調査図書及び視聴覚資料を整備した。本年度は、新たに電子書籍を整備した。

(1) 図 書 資 料

区 分		購 入 数	金 額	蔵 書 数
本 館	一般	7,095 ^冊	21,723,297 ^円	395,040 ^冊
	児童	1,961	3,654,105	77,576
戸 田	一般	399	669,546	23,935
	児童	322	643,302	12,001
自 動 車 文 庫	一般	306	331,179	3,671
	児童	133	185,350	2,041
地 区 セ ン タ ー	一般	1,025	1,665,348	30,537
	児童	681	868,879	39,988
計	一般	8,825	24,389,370	453,183
	児童	3,097	5,351,636	131,606

(2) 電子書籍資料

区 分		購 入 数	金 額	蔵 書 数
ぬ ま づ 電 子 図 書 館	一般	5,834 ^点	14,215,449 ^円	10,867 ^点
	児童	748	4,484,551	748
計		6,582	18,700,000	11,615

(3) 視聴覚資料

区 分	購 入 数	金 額	所 蔵 数
本 館	384 ^点	2,133,484 ^円	41,603 ^点
戸 田	16	154,366	1,192
計	400	2,287,850	42,795

3 館内・館外業務

本館及び戸田図書館では、一般書、児童書、視聴覚資料、郷土資料、新聞、雑誌等の閲覧・貸出しや、予約・リクエストサービス、レファレンスサービス、コピーサービスなどを行うとともに、本館でのWi-Fiサービスを開始した。また、市街地周辺部の利用者に対して自動車文庫や地区センターの図書室において貸出しを行った。

(1) 入 館 者 数

区 分	年 度	開館日数	入 館 者 数		
			年 間	1 月平均	1 日平均
本 館	2	274 ^日	217,574 ^人	18,131 ^人	794 ^人
	元	301	347,551	28,963	1,155
戸 田	2	265	4,562	380	17
	元	280	6,899	575	25

(2) 貸出利用者数、貸出数

(視聴覚資料は館内ブース利用も含む)

区 分	年 度	利用者数	貸 出 数		
			図書資料	視聴覚資料	計
本 館	2	210,062 ^人	634,216 ^冊	90,301 ^点	724,517 ^{冊・点}
	元	250,705	675,481	95,149	770,630
戸 田	2	2,587	6,483	347	6,830
	元	2,577	5,697	562	6,259
自 動 車 文 庫	2	2,961	14,378	—	14,378
	元	3,382	14,323	—	14,323
地 区 セ ン タ ー	2	9,536	35,479	—	35,479
	元	12,175	46,281	—	46,281
計	2	225,146	690,556	90,648	781,204
	元	268,839	741,782	95,711	837,493

(3) ぬまづ電子図書館

令和3年1月29日から電子書籍の貸出しを行った。

年 度	開館日数	貸 出 数	
		年 間	1 日平均
2	62 ^日	6,385 ^点	103 ^点

(4) 自動車文庫

市内45か所のステーション及び小学校2校を巡回して、市街地周辺部の利用者及び小学生への図書貸出しを行った。

年 度	出動日数	貸 出 数		
		年 間	1 月平均	1 日平均
2	169 ^日	14,378 ^冊	1,198 ^冊	85 ^冊
元	179	14,323	1,194	80

(5) 郵送・宅配・団体貸出

図書館に来館することが困難な利用者（身体障害者等）を対象に郵送や宅配貸出しを行い、登録された利用者（146人）の便宜を図った。また、沼津聴覚特別支援学校等に図書の団体貸出しを行った。

年 度	郵 送		宅 配		団 体	
	利用件数	貸 出 数	利用件数	貸 出 数	利用者数	貸 出 数
2	19 ^件	39 ^冊	134 ^件	833 ^冊	32 ^{団体}	12,420 ^冊
元	14 ^件	20 ^冊	171 ^件	769 ^冊	29 ^{団体}	9,858

(6) レファレンスサービス

職員が利用者の求める資料の検索や情報の収集を支援する、レファレンスサービスを行った。

(単位 件)

年 度	窓 口	電 話	文 書	E-mail	計
2	4,663	93	3	5	4,764
元	4,705	402		4	5,111

(7) 相 互 貸 借

各図書館の間で相互に図書資料の貸借を行い、利用者の要求に応じている。資料の貸借は、県立中央図書館の協力車に依頼、郵送、宅配便の方法から選択して行った。

ア 貸 出

年 度	県内図書館		県外図書館		計	
	件 数	貸出数	件 数	貸出数	件 数	貸出数
2	684 ^件	1,057 ^冊	6 ^件	6 ^冊	690 ^件	1,063 ^冊
元	834	1,025	7	9	841	1,034

イ 借 受

年 度	県内図書館		県外図書館		計	
	件 数	借受数	件 数	借受数	件 数	借受数
2	1,053 ^件	1,499 ^冊	48 ^件	78 ^冊	1,101 ^件	1,577 ^冊
元	970	1,477	65	75	1,035	1,552

(8) 静岡県東部地域図書館間の相互利用

県東部地域の公共図書館相互利用協定により、各市町の利用者は、直接、協定先の図書館から図書資料の貸出しを受けることができる。

協定先は、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、富士市、御殿場市、下田市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、南伊豆町、松崎町、函南町、清水町、長泉町及び小山町の10市6町で、令和3年3月31日現在の登録者数は、20,522人である。

4 自主事業

(1) 図書館講座等

図書館活動の一環として、図書館資料の提供と関連をもたせ、資料の活用を促進し、市民の読書活動推進の一助となるよう講座を開催した。

ア 子どもの本を知る講座

回	月 日	内 容	講 師
1	8.23	「絵本＋ワークショップ」 ～絵本から繋がる想像力～	子育て応援サークルいちご代表 藤井さやか
2	9.6	「子どもと読書」 ～読書はほんとに大切なこと？～	静岡県子ども読書アドバイザー 亀田 圭子
3	9.13	「子どもの本とその時代」 ～古典児童文学から育つもの～	ぬまづ子どもの本を学ぶ会代表 村上 慶子

参加者 1日平均 17人 会場 第1・2講座室 開催時間 13:30～15:00

イ 読書週間講演会（動画配信）

期 間	内 容	講 師
11.19～	「近代日本の礎を築いた渋沢栄一」	作家 今井 博昭

動画配信によるリモート講演会（3部作） 視聴回数 延べ2,968回

動画上映会（市立図書館）2回 参加者33人

（戸田図書館）2回 参加者 6人

ウ 東京オリンピック開催記念講演会

月 日	内 容	講 師
3.2.11	岩崎恭子さんによるオンライン講演会 「泳縁（えいえん）」	バルセロナ五輪 競泳200m平泳ぎ金メダリスト 岩崎 恭子

参加者 70人 開催時間 13:30～15:00

エ 読みメン講座

月 日	内 容	講 師
3.3.14	「街頭紙芝居芸人 三ツ沢グッチの読みメン講座 ～紙芝居を見て、作って、学び、 表現力をアップさせよう!!～」	街頭紙芝居芸人 三ツ沢グッチ

参加者 23人 会場 第1・2講座室 開催時間 13:30～15:00

(2) 展 示 事 業

期 間	名 称	内 容
4.1～6.30 (1回目) 9.16～10.6 (2回目)	「東海道沼津宿と清水本陣」	近世沼津宿の本陣清水家が所蔵していた古文書など8点の資料と沼津宿等の関連資料を展示。2回目の展示は、一部展示内容を変更するとともに、学芸員によるギャラリートークを開催した。
10.8～11.29	読書週間企画展 「生誕180周年 日本近代化の父 渋沢栄一との邂逅」	渋沢栄一の年譜及び家系図、静岡の事業、栄一の後継者 渋沢敬三と沼津の関わりについて貴重な資料を展示。
12.3～ 3.1.24	冬の企画展「冬・ふゆ」 ～みつけたよ きれい! たのしい! おいしい!～	雪の結晶の写真を撮ることに生涯をささげたベントレーや、クリスマスに関する絵本を展示。
3.2.11～ 3.23	東京オリンピック開催記念企画展 「沼津市出身のオリンピック」	沼津市出身のオリンピック・パラリンピアンとの紹介と、関連書籍の展示。最終日には、東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレーのトーチも限定展示された。

(3) その他事業

ア 「沼津市子ども読書活動推進計画」関連事業

(ア) ぬまづ昔ばなし

読み聞かせの動画を配信した。

動画配信 5月1日から毎週金曜日に動画配信（全10回）

(イ) 絵本の楽しみ 絵本の選び方

動画配信によるリモート講演会を開催した。

動画配信 令和3年3月31日～

講師 元福音館書店編集者 古川 信夫

イ クリスマスフェスティバル

乳児・幼児・小学生低学年向けにジャンル分けしたおすすめの本の紹介と、手遊びや自宅で簡単に作れる工作の紹介動画を配信した。

また、図書館1階にクリスマスツリーを設置し、来館した子どもたちによるオーナメント装飾を行った。

動画配信 11月28日～12月31日

視聴回数 おすすめの絵本 285回

手遊び・工作 355回

ウ 大人のビブリオonlineバトル

大人を対象としたビブリオバトルをZoom及びYouTubeを活用し、オンラインで開催した。

開催日 令和3年3月5日

参加者 発表者 5人

視聴回数 510回

5 図書館情報ネットワーク事業

本館と戸田図書館及び市内16か所の地区センターをコンピュータ回線でネットワーク化することで、図書館の分館的な機能を整備している。また、パソコンや携帯電話から図書館資料の検索や予約が可能な図書館ホームページ、Facebook及びTwitterによる情報提供を行うことで、利用者の利便向上と図書館資料の利用促進を図った。

ホームページアクセス件数	320,702 件
オンライン予約件数	24,476 件
ぬまづ電子図書館予約件数	1,347 件

第 8 節 市民文化センター

1 市民文化センター

公益財団法人沼津市振興公社を指定管理者として、文化芸術の鑑賞・交流の場として利用者の立場に立った利用しやすい施設となるように努めた。

また、文化芸術活動を支援・活性化することを目的とし、文化センター大・小ホールの利用料金を50%減免する「文化活動にエール！市民文化センター 大・小ホール利用サポート事業」を実施した。

(1) 市民文化センター運営審議会

市民文化センターの円滑な運営を図るため、委員 7 人による審議회를 2 回開催し、施設の利用促進などについて審議した。

(2) 利用状況

区 分	可 能		使 用					利用人数
	日 数	回 数	日 数	率	件 数	回 数	率	
大 ホ ー ル	263 ^日	789 ^回	103 ^日	39.2 [%]	114 ^件	256 ^回	32.4 [%]	25,841 ^人
小 ホ ー ル	258	774	153	59.3	174	314	40.6	14,159
ホ ー ル 計	521	1,563	256	49.1	288	570	36.5	40,000
大 会 議 室	313	939	133	42.5	149	279	29.7	4,846
第 1 練 習 室	289	867	83	28.7	89	140	16.1	3,200
第 2 練 習 室	314	942	107	34.1	116	220	23.4	3,851
第 3 練 習 室	291	873	128	44.0	149	198	22.7	2,730
第 1 会 議 室	289	867	56	19.4	58	126	14.5	487
第 2 会 議 室	289	867	55	19.0	55	126	14.5	988
第 3 会 議 室	289	867	79	27.3	83	122	14.1	1,954
第 4 会 議 室	289	867	120	41.5	127	242	27.9	1,025
第 5 会 議 室	289	867	141	48.8	154	227	26.2	1,813
第 6 会 議 室	289	867	95	32.9	97	158	18.2	1,533
第 7 会 議 室	289	867	20	6.9	20	51	5.9	1,170
特 別 会 議 室	289	867	20	6.9	24	45	5.2	67
会 議 室 計	3,519	10,557	1,037	29.5	1,121	1,934	18.3	23,664
1リハーサル室	278	834	143	51.4	185	228	27.3	2,156
2リハーサル室	279	837	163	58.4	211	253	30.2	2,445
リハーサル室計	557	1,671	306	54.9	396	481	28.8	4,601
展 示 室	289	289	45	15.6	45	45	15.6	5,576
計	4,886	14,080	1,644	33.6	1,850	3,030	21.5	73,841